

農林水産商工常任委員会提出資料

(令和2年9月14日)

項 目	ページ
1 新型コロナウイルス感染症への対応状況について 【農林水産総務課】……………	1
2 大山周辺のナラ枯れ被害状況について 【森林づくり推進課】……………	8
3 鳥取県営境港水産物地方卸売市場2号上屋展示スペースの基本計画(案) について 【境港水産事務所】……………	9
4 鳥取県産品の情報発信に係る取組について 【販路拡大・輸出促進課】……………	11
5 県産牛肉等学校給食提供事業の実施について 【食のみやこ推進課】……………	13
6 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【農地・水保全課、水産課】……………	14

農 林 水 産 部

新型コロナウイルス感染症への対応状況について

令和2年9月14日
農林水産総務課

新型コロナウイルス感染症による農林水産業への影響を踏まえ、4月補正予算、6月補正予算等により、(1)産業の持続化・経営安定化、(2)農林水産物の消費拡大・需要喚起、(3)感染症対策といった取組を関係機関と連携しながら実施しています。この取組について、8月末時点での状況を報告します。

1. 県予算の執行状況（令和2年8月31日時点）

(1) 農林水産業の持続化・経営安定化の支援

担当課	経営支援課	予算額 (千円)	0	4月補正
事業名	[制度改正]農業金融利子補給等総合支援事業			
事業概要	新型コロナウイルス感染症により、直接的又は間接的な被害を受けている農業者に対して、融資制度を設けて資金繰り支援を行うため、JAグループと協調して当該融資制度への利子補給を実施する。			
執行状況	畜産農家1件、果樹農家1件の合計2件につき、JAにて融資実行したところ。このほか1件農家より問い合わせあり。			

担当課	とっとり農業戦略課	予算額 (千円)	41,310	4、6月補正
事業名	緊急雇用対策農林水産ささえあい事業		30,000	調整費
			71,310	計
事業概要	新型コロナウイルス感染拡大を受けて、休業中の従業員を中心に農林水産分野で雇用の受け皿づくりを行うとともに、新型コロナウイルス感染拡大に負けないための支援体制を構築する。(6月には生活に困窮する学生に対応するため、雇用する対象範囲を拡大)			
執行状況	相談件数：75件、申請件数：52件（農業50、林業1、水産業1） 雇用者数234名（4,450人役）【詳細は別紙1参照】			

担当課	畜産課	予算額 (千円)	65,656	4、6月補正
事業名	和牛肥育経営緊急支援事業		23,000	調整費
			88,656	計
事業概要	和牛肉の大幅な消費の落ち込みに伴う枝肉販売価格の下落や出荷制限により経営が悪化している和牛肥育農家を支援する。 ①粗収益と生産コストの差額のうち国の牛マルキン制度（粗収益と生産コストの差額の9割）で補償されない部分の助成 【補助率】1/2 ②出荷制限により出荷が伸びた場合の飼料費相当額の助成 【補助率】一頭あたり肉専用種2.2万円、交雑種1.9万円、乳用種2.1万円 ※国事業で支援できない部分を支援 ③卸売業者の牛肉保管及び販売対策にかかる経費の助成 【補助率】1/2			
執行状況	①2～6月に出荷された肥育牛1,571頭に対し、19,898千円を助成 ②現時点では市場で出荷制限が行われていないため、事業の実施なし(国事業も実施なし) ③県内卸売業者3業者に計3,000千円を交付決定			

担当課	県産材・林産振興課	予算額 (千円)	10,000	4月補正
事業名	原木安定供給等緊急対策事業			
事業概要	原木の在庫調整を適切に行い、素材生産業者等が安心して生産活動が行える環境を維持するため、原木等の保管に必要なストックヤードの確保や原木のバイオマス活用への転換など、地域の実情に応じた在庫調整の取り組みを支援する。			
執行状況	原木のバイオマス活用への転換に対する支援を行い、8月末で3,500 m ³ （補助金3,500千円）程度の実施見込み。			

担当課	水産課	予算額 (千円)	2,000	8月補正
事業名	漁業金融対策費			
事業概要	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた漁業者や漁業協同組合を対象として、漁業系金融機関（農林中央金庫、鳥取県信用漁業協同組合連合会）が創設する新たな融資制度に対し支援（利子補給）を行う。			
執行状況	9月中の融資実行に向けて、漁業系金融機関と規程等について最終調整中。並行して漁業者や漁業協同組合に事業説明を行っているところ。 8月末現在申込予定の漁業者等 2件（融資希望額計1億5千万円） また、9月から漁期が始まる沖合底引き網漁業者についても必要に応じて融資を予定している。			

担当課	食のみやこ推進課	予算額 (千円)	300,000	4月補正
事業名	頑張ろう「食のみやこ鳥取県」緊急支援事業			
事業概要	新型コロナウイルス感染症の拡大により、県産品の消費減退、外食・飲食需要の低迷などの著しい影響を受ける、県内の飲食、宿泊、観光事業者等、及びこれらに関わる事業者が取り組む雇用や事業の継続、県産農林水産物を活用した取組等を支援する。			
執行状況	交付決定数 1,898件、交付決定額 204,300千円【詳細は別紙2参照】			

担当課	畜産課	予算額 (千円)	49,539	当初
事業名	畜産経営安定対策事業		54,975	6月補正
			104,514	計
事業概要	肉用牛等の取引価格の低下に伴う所得の低下に対して、生産者の所得を確保するため交付金を交付するもの。積立金の一部を県が助成する。 ①肉用牛肥育経営安定対策事業（肥育牛の価格差補填制度） 【補助率】 1/3 ②肉用子牛価格安定事業（肉用子牛の価格差補填制度） 【補助率】 1/4			
執行状況	①積立金が増額となった4月～7月の積立頭数2,389頭に対して、34,091千円を助成 ②積立金が増額となった4月～6月の積立頭数1,768頭に対して、1,485千円を助成			

(2) 農林水産物の消費拡大、需要喚起への支援

担当課	県産材・林産振興課	予算額 (千円)	4,027	4月補正
事業名	県産材乾燥技術向上推進モデル事業			
事業概要	新型コロナウイルスの影響で、木材の需要減となっていることを踏まえ、天然乾燥と人工乾燥を組み合わせた技術の実証を行い、県内製材所のコスト競争力強化を早期に図るべく実証を行う。			
執行状況	鳥取県木材協同組合連合会と「天然乾燥併用による人工乾燥実証試験委託業務契約」を締結し、県内4箇所の事業所で試験を開始した。（業務期間：令和2年8月19日から令和4年3月18日まで） ・試験事業所（(株)ウッディ若桜、(有)上紙材木店、智頭町森林組合（木材加工センター）、淀江木材(株)）			

担当課	水産課	予算額 (千円)	1,972	4月補正
事業名	県産魚の消費拡大支援事業			
事業概要	新型コロナウイルスの影響で、飲食店等での消費が減少し、家庭での食事機会が増加している状況から、量販店、鮮魚直売店等と連携して県産魚フェアを開催し、魚食普及動画等を活用した県産魚の販売促進に取り組む。			
執行状況	地魚料理動画「鳥取の地魚を食べよう！」を撮影・編集し、7魚種、15動画をYouTube「とっとり動画ちゃんねる」に掲載済み。現在、7動画を編集中で、今後、更に季節に応じた魚種の動画を追加予定。B2ポスター200枚、A6チラシ2000枚、QRコードシール30ロールを印刷し、漁協直売店、鮮魚仲買等に配布。店頭でポスター、チラシを掲出し、販売促進に取り組んでいる。			

担当課	販路拡大・輸出促進課	予算額 (千円)	3,000	4月補正
事業名	とっとり農畜産物海外輸出需要強化事業			
事業概要	県産農畜産物の海外での販促活動を強化し、新型コロナウイルスの影響で輸出量が落ち込んでいる又は落ち込むことが想定される本県産農畜産物の取引量及び知名度の維持、促進を図り、海外での本格的な販売促進活動に備える。			
執行状況	香港・台湾での販売促進を強化するため、すいか、梨、鳥取和牛のプロモーション資材（中国語チラシ、ポスター、専用進物箱、販促資材）を作成した。			

担当課	販路拡大・輸出促進課	予算額 (千円)	10,000	4月補正
事業名	GoTo食のみやこ鳥取キャンペーン			
事業概要	鳥取和牛や鳥取の地酒・地ビールなどの都市圏での売り上げが大幅に落ち込んでいるため、売り上げの落ち込みを払しょくするため、鳥取和牛や地酒を使った鳥取フェアを開催する。			
執行状況	未実施 (国のGo To Eat キャンペーンに合わせて、実施方法等について調整する)			

担当課	食のみやこ推進課	予算額 (千円)	35,000	4、6月補正
事業名	「食のみやこ鳥取県」ふるさと産品巣ごもり応援事業		20,000	調整費
			55,000	計
事業概要	県民が県内の農林水産物等の産品を県外の親族や友人等に配送等することを応援し、直売所等がふるさと産品を販売するために必要な経費を支援する。(各JA、一般事業者等)			
執行状況	交付決定数 50件、交付決定額 26,486千円【詳細は別紙2参照】			

担当課	食のみやこ推進課	予算額 (千円)	23,000	4月補正
事業名	県産農林水産物需要拡大・加工事業者経営回復対策事業			
事業概要	県産農林水産物を使用した食品加工事業者の相談窓口を設置するとともに、試食に代わる試供品の提供やインターネット商談等、対面によらない販売促進を支援し、県産農林水産物の需要拡大と食品加工業者の経営回復を図る。			
執行状況	鳥取県6次化サポートセンターに相談窓口を設置。主にネット環境整備等への支援、試供品の提供体制の整備等への支援を実施。 交付決定数：30件、交付決定額：13,185千円 支援事例：食品加工事業者及び6次産業農林漁業者が行うネット販売用ホームページの作成・改修や通信販売用カタログの作成等			

担当課	食のみやこ推進課	予算額 (千円)	160,000	4月補正
事業名	県産牛肉学校給食提供事業			
事業概要	県内小中学校等での給食で鳥取和牛ほか県産牛肉を使ったメニューを提供するとともに、学校現場での食育活動を実施する。			
執行状況	9月17日から11月30日までの期間、19市町村の小中学校等181校で提供。 【詳細は報告事項5参照】			

担当課	食のみやこ推進課	予算額		
事業名	鳥取地どりピヨ学校給食提供事業	(千円)	33,000	6月補正
事業概要	小中学校等の給食で鳥取地どりピヨを使ったメニューを提供するとともに、学校現場での食育活動を実施する。			
執行状況	6月30日から1月26日までの期間、9市町の小中学校等134校で提供。 【詳細は報告事項5参照】			

担当課	とっとり農業戦略課	予算額		
事業名	農林水産物消費回復・拡大緊急プロジェクト支援事業	(千円)	75,000	6月補正
事業概要	新型コロナウイルス感染拡大に伴い落ち込んだ農林水産物、農林水産加工品等の消費回復・拡大に向け、農林水産業関係団体等が行う販路開拓、新しい生活様式に合わせた新商品開発等の新たな取組を支援し、県内農林水産物の販売促進を図る。			
執行状況	相談件数：14団体、申請件数：9団体17件 交付決定件数：5団体7件（交付決定額22,700千円） 支援事例：鳥取県牛肉販売協議会がJAグループとともに行った鳥取和牛消費拡大に向けた県内宿泊施設での和牛すきやき食べ放題のキャンペーン等			

担当課	水産課	予算額		
事業名	県産水産物学校給食提供事業	(千円)	83,755	6月補正
事業概要	県内小中学校での給食で県産水産物を使ったメニューを提供し、あわせて食育活動を行うことにより県産魚への理解を深め、魚食普及につなげる。			
執行状況	申請件数8件、交付決定件数5件、交付決定済額7,859千円 品目は養殖ヤマメ、境港サーモン、ベニズワイガニ、マグロ、ハタハタ、ハマチ、サワラ、アジ、サバ、イワシ、カレイ等。 現在も随時申請を受け付けており、全体で17の市町村等が事業を実施予定である。 また、県産魚に関するパンフレットを作成し、全小中学校に配布する。併せて、希望する学校でパンフレットを活用した出前食育活動を行う予定である。			

担当課	販路拡大・輸出促進課	予算額		
事業名	輸出食品の製造施設緊急支援事業	(千円)	21,275	6月補正
事業概要	輸出を行う食品事業者等に対して、施設や機器の整備、これらの効果発現を促進するためのハード経費を支援する。（補助率1/2）			
執行状況	【相談件数】1件【申請件数】1件【交付決定件数】1件 【交付決定額】21,274千円（事業費：42,548千円） 【完了予定日】令和2年12月31日			

担当課	販路拡大・輸出促進課	予算額	20,000	6月補正
事業名	クラウドファンディング応援型先取り券事業「とっとり券」	(千円)	64,000	調整費
			84,000	計
事業概要	クラウドファンディングを活用して県内の飲食店等の前売りクーポン販売を実施することで、地元の飲食店等の収入減の緩和を図る。			
執行状況	【参加店舗】1,327店舗（参加募集期間：6月12日～6月30日） （内訳）飲食店約800店、宿泊施設約160施設のほか、観光施設、お土産物屋、特産品直売所、理容所・美容所など多岐にわたる店舗が参加 【支援総額】247,060千円（支援受付期間：6月22日～7月10日） 【支援者数】9,347人 【店舗入金】7月29日～8月7日（店舗への入金総額は20%プレミアム分を加え約3億円） 【利用期間】令和2年8月1日～令和3年1月31日			

担当課	販路拡大・輸出促進課	予算額 (千円)	20,000	6月補正
事業名	オンライン活用型「鳥取物産展」開催事業			
事業概要	ネット通販を活用した鳥取県フェアの開催により、コロナ禍の県内事業者の県産品の販路拡大を図る。			
執行状況	①楽天市場（期間：8月3日～9月7日） ・県内事業者等36社、466商品を出品 ・売上額：10,737,521円（8/26時点） ②47CLUB（期間：8月1日～9月30日） ・県内事業者63社、85商品を出品 ・売上額：3,581,422円（9/1時点）			

(3) 感染症対策への支援

担当課	農業大学校	予算額 (千円)	3,000	6月補正
事業名	遠隔授業システム構築事業			
事業概要	学生の適正な授業環境を確保し、円滑な授業の実施を可能にするため、双方向で通信可能な遠隔授業の設備を整備。			
執行状況	仕様書の作成など、機器の購入に向けた準備を行っているところ。11月に機器を導入し、遠隔授業を実施する見込み。			

担当課	とっとり農業戦略課	予算額 (千円)	7,000	6月補正
事業名	農林水産関係感染症防止対策環境整備支援事業 新型コロナウイルス対策農林水産出荷支援事業	3,000		8月補正
事業概要	県内農林水産業関係団体（JA、漁協等）が共同利用施設等で行う感染予防及び安全な事業継続を行うための感染拡大防止の対策について支援する。			
執行状況	相談件数：13件、申請件数：21件（5団体）（8月28日現在） 交付決定件数：3件（交付決定額477千円）			

2. 各事業の相談・周知

(1) 各種相談窓口の開設

頑張ろう鳥取県緊急支援センターの開設（開設日：4月25日～）

市場開拓局内に相談窓口を設置。8月末までに、2,041件の相談があった。

相談の主なものとして、取組が補助対象となるか、申請の具体的な方法、といった内容を対面や電話で応答した。

緊急雇用対策農林水産ささえあい事業相談窓口の開設

とっとり農業戦略課内に相談窓口を設置。8月末までに75件の相談があった。

相談の主なものとして、マッチングの具体的な連携先や補助申請の方法について、主に電話で応答した。

(2) 事業の制度周知

「頑張ろう「食のみやこ鳥取県」緊急支援事業」の事業周知にあたり、地域のフリーペーパーやSNS、新聞広告等による情報発信や、DMによる情報提供を実施した。

緊急雇用農林水産ささえあい事業の実施状況

(緊急農林水産業雇用事業)

別紙1

とっとり農業戦略課

1 緊急雇用農林水産ささえあい事業の概要（6月補正後）

区分	事業内容（補助対象経費）	実施主体	補助率	予算額(千円)
緊急雇用紹介事業	職業紹介支援員の設置	J A	県1/2	1,107
緊急農林水産業雇用事業	新型コロナウイルス感染拡大で休業などの影響を受けた方を新たに農林水産業分野で雇用する場合の補助（日当、旅費交通費等） (1,100名×14日間(15,400人役))	農林水産業者等	県1/2	65,840 ※調整費含む
技能習得支援事業	資格取得に要する経費の補助	J A 県中央会	県1/2	4,363
合 計				71,310

※緊急農林水産雇用事業については、6月に「新型コロナウイルス感染症緊急事態対策調整費」から30,000千円（500名×14日間（7,000人役））を予算措置

※6月には生活に困窮する学生に対応するため、雇用する対象範囲を拡大

2 相談状況

- ・令和2年4月24日の運用開始後、8月末現在で75件の相談を受け付けている。
- ・農林水産業者だけでなく、新型コロナウイルス感染拡大で事業の影響を受けた業者から「社員を働かせる場所はないか」との相談もあった。（4月30日には旅行代理店の職員が相談で来庁）

3 補助金の申請及び執行状況

現在、申請を受け付けたのは52件、内訳は農業50件、林業1件、水産業1件と新型コロナウイルスに感染し営農が出来なくなった農家の支援として1件であり、雇用をした人の合計は234名（4,450人役）となっている。

(1) 主な申請の状況

市町村	事業申請者	雇用人数	雇用者	作業名等	雇用期間
八頭町	(有)田中農場 代表 田中里志	4名	旅行代理店 1名 飲食業 3名	田植え作業準備	4/27～6/25
鳥取市	山根 健	30名	観光業 13名 お土産物製造業 10名 飲食業等 7名	らっきょう畑除草作業、収穫出荷調整	4/29～5/26
北栄町	山脇 篤志	16名	温泉旅館従業員 11名 〔 J A 鳥取中央農業者財紹介センターと旅館組合等との連携 〕 飲食業等 5名	らっきょう畑除草作業、収穫出荷調整	5/15～6/14
北栄町	合同会社ふれあい (就労継続支援A型事業所)	12名	温泉旅館従業員 2名 飲食業 8名 その他 2名	らっきょう畑除草作業、収穫出荷調整	5/17～6/30
J A 鳥取いなば 広域果実選果場（郡家）		8名	旅行代理店 4名 鳥取大学農学部学生 4名	梨選果作業	8/26～9/18

【農業者・雇用者の声】

○雇用者：(有)田中農場での雇用者の声（飲食店オーナー）

「あまり経験のない外作業は気持ちよく、米作りの勉強にもなる。店が再開したら素材のおいしさを味わえる調理法を工夫したい。」

○(有)田中農場 代表取締役 田中里志さん

「農家は人手不足で困っている。手伝いに来てもらえるととてもありがたい。生産現場で体験したことを料理や接客で生かしてもらえたら。」

○大学生の声（J A 鳥取いなば 広域果実選果場）

「生活に困窮していたので本当にありがたい。また、関心のある農業に携わることもうれしい。」

(2) 執行状況

事業名	予算額 (千円)	執行額 (千円)	雇用人数等
緊急雇用農林水産ささえあい事業 (調整費含む)	71,310	(8月末) 17,858	雇用状況 234名・4,450人役

令和2年4月臨時補正予算で計上された新型コロナウイルス感染症対策に関連した事業の執行状況等を報告します。

1 頑張ろう「食のみやこ鳥取県」緊急支援事業

(1) 概要

新型コロナウイルス感染症の拡大により、県産品の消費減退、外食・宿泊需要の低迷などの著しい影響を受ける、県内の飲食、宿泊、観光事業者等、及びこれらに関わる事業者が取り組む雇用や事業への継続、県産農林水産物を活用した取組等を支援する。

(補助金額) 上限100千円／1事業者(補助率10／10)

※複数店舗を経営する事業者は上限200千円

(2) 相談、執行状況(8月31日時点)

交付決定数 1,898件

交付決定額 204,300千円

<主な事業者>

飲食店 62%、社交飲食 24%、宿泊施設 6%、観光関係事業者 2%、

その他食品加工事業者 6%

<支援事例>

- ・対象事業者の多くは、マスクや消毒液など衛生用品を購入し、感染防止に取り組むほか、固定費、人件費に充て、事業の継続に取り組んでいる。
- ・社交飲食：機材レンタル経費等の固定費・人件費等に充て事業継続に取り組んでいる。
- ・宿泊施設：民泊等の田舎暮らし体験メニューを整備し観光客を受け入れている地域協議会が、同地域の民泊を行う事業者の申請を取りまとめて申請された。
- ・飲食店・仕出し・食品加工事業者：本補助金のほか、非対面型販売促進事業、企業内感染対策防止対策補助金、緊急応援補助金(経営危機克服型)等を活用し、新商品開発に取り組み始めた。

2 「食のみやこ鳥取県」ふるさと産品巣ごもり応援事業

(1) 概要

新型コロナウイルス感染症の拡大により、都市部等での外出自粛による巣ごもり需要に対応するため、県産農林水産物等を県民が県外の親族や友人に配送することを応援し、直売所等がふるさと産品を販売するために必要な経費を支援する。

(補助金額) 上限1,000千円／1事業者(補助率1／2)

(2) 執行状況(8月31日時点)

交付決定数 50件

<主な事業者>

○JA関係

JA鳥取いなば、JA鳥取中央、JA鳥取西部、大山乳業農業協同組合、鳥取県畜産農業協同組合
鳥取県漁業協同組合 等

○直売所関係

地場産プラザわったいな、道の駅 他

○個人、法人事業者

酒造販売業者、菓子製造業者、食品加工事業者、梨直売業者 等

<支援事例>

- ・直売所(地場産プラザわったいな)：二十世紀梨の送料半額キャンペーンを実施し、前年より売上が伸びている。
- ・酒造販売事業者：本事業を活用し、送料無料キャンペーンを実施し、顧客にダイレクトメール等で情報発信したところ、前年と比べ県内から県外への発送が増加し、売上が伸びている。

大山周辺のナラ枯れ被害状況について

令和2年9月14日
森林づくり推進課

8月中旬以降、大山周辺のナラ枯れ被害が急激に拡大したことを受け、8月28日に関係機関で緊急現地検討会を開催しました。また、9月4日、5日に民間ヘリによる空中探査を実施し、被害の全容を把握した上で、9月10日に「鳥取県ナラ枯れ被害対策協議会」を開催し、関係機関で対応方針を協議しましたので報告します。

1. 被害状況

(1) 被害の状況

大山国体広場から桧水高原及び奥大山にかけてのミズナラ林において例年以上のペースで被害が確認されているほか、これまで被害の見られなかった高標高域においても被害が発生している。

(2) 被害の原因

- ・ 今年の暖冬によりカシノナガキクイムシの冬期生存率が平年に比べ大幅に上昇した。
- ・ 6～7月のカシノナガキクイムシの脱出・穿孔が多い時期に少雨で、穿孔に適した気象条件であった。
- ・ 萎凋病（樹液が不足し枯れる病気）であり、梅雨明け後の8月以降の急激な高温かつ少雨が影響した。

（少雨は過去8月のワースト2位）

※鳥取地方気象台大山観測所、江尾観測所のデータより（統計期間1982年～2020年）

2 対応状況

(1) ナラ枯れ被害現地検討会（8月28日）

8月中旬以降、大山周辺においてナラ枯れ被害が急激に拡大したことを受けて、国・県・町の関係者が合同で調査を実施した。

(2) ナラ枯れ被害ヘリ探査（9月4、5日）

民間ヘリにより、地上から確認できない区域を含めてナラ枯れ被害の発生状況、分布状況の全容を把握した。

(3) 鳥取県ナラ枯れ被害対策協議会（9月10日）

重点対策区域を中心に駆除を実施することで一致し、特に今年度被害が拡大した桧水高原から鍵掛峠にかけての大山環状道路周辺を、景観及び安全対策として集中的に実施することとした。

また、県民のナラ枯れに対する理解を深めるため、鳥取県ナラ枯れ被害対策協議会主催の勉強会を行うことを決定した。

(4) 伐倒駆除等（9月中旬以降速やかに）

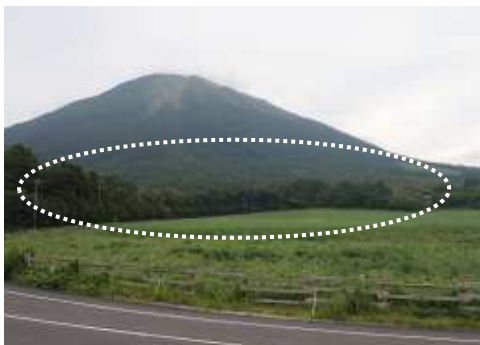
大山山頂から10km圏内の「重点対策区域」を中心に集中的な駆除を実施する。

特に、9月中旬から大山の紅葉シーズン前までの間に大山環状道路周辺に見られる枯損木を伐倒し、観光客目線での景観対策と倒木による事故防止を図る。

<鳥取県ナラ枯れ被害対策協議会>

市町村、鳥取森林管理署、大山隠岐国立公園事務所、県（緑豊かな自然課、文化財課、地方事務所、林業試験場、森林づくり推進課（事務局））から構成し、被害状況を踏まえて対策方針を決定する。

（参考） 伯耆町小林から見た大山の様子



令和元年8月22日撮影



令和2年8月18日撮影

※前年に比べナラ枯れの範囲が拡大

鳥取県営境港水産物地方卸売市場 2号上屋展示スペースの基本計画（案）について

令和2年9月14日
境港水産事務所

さかいみなと漁港・市場活性化協議会（令和2年7月27日開催）において令和4年度に完成予定の2号上屋の展示スペースのコンセプト、整備の考え方等の基本計画（案）がまとまりましたので報告します。

1. 展示スペースの概要

- コンセプト**：年齢を問わず、親しみやすく、わかりやすい展示で漁港・市場の役割や四季を通じて水揚げされる水産物の魅力を紹介する。
- 特徴**：普段目にする機会が少ない漁港・市場の見学と併せ、境水道や美保湾にすむ魚たちの飼育展示、食育機能を合わせ持つ調理実習室により水産業や海の生き物への理解を深めてもらう。

2. 各施設の概要（整備面積）

- エントランスホール（151m²）**
 - ・旬の魚をパネルや模型で紹介する。
（旬の魚の例 春：ギンザケ、夏：クロマグロ、秋：ベニズワイガニ、冬：松葉がに）。
- 展示ホール（106m²）**
 - ・高度衛生管理型の漁港・市場の機能について紹介する。
 - ・展示水槽2基を整備して境水道や美保湾に棲む魚を周年飼育展示する。
 - ① 美保湾・境水道の魚（2トン水槽）：スズキ、タイ、マハゼ等
 - ② 季節の魚の展示例（1トン水槽）：イカやベニズワイガニ等
- お魚学習室（108m²）**
 - ・市場・漁港の紹介動画等が視聴できるプロジェクターを整備する。
- 調理実習室（140m²）**
 - ・電化調理台を5台（講師用1台、生徒用4台）整備し、調理実習や魚食普及活動を行う。

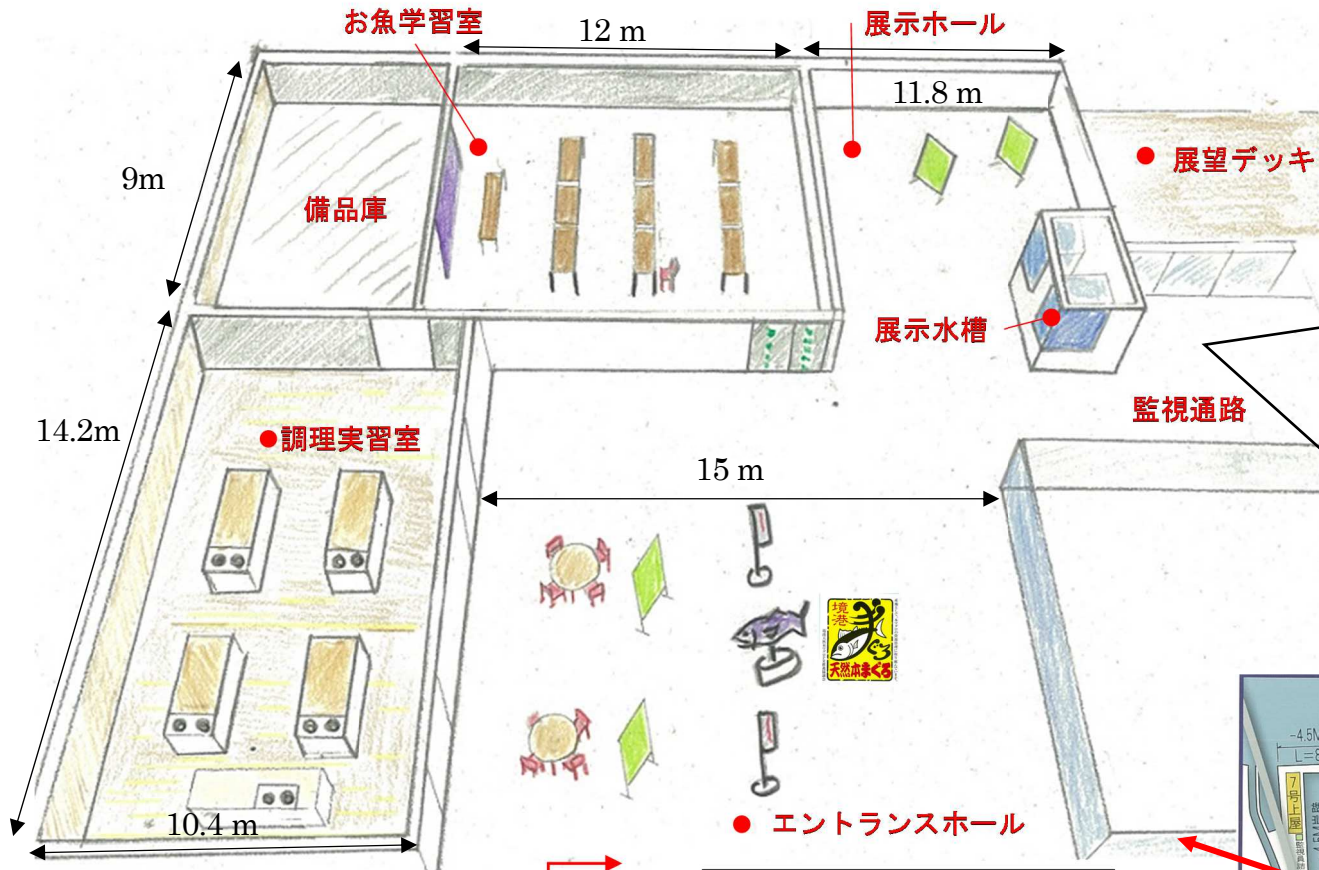
3. 今後の予定

- ・さかいみなと漁港・市場活性化協議会で展示の内容、各施設のレイアウト等の詳細について検討し、令和4年度夏の供用開始を目途に整備を行う。

<さかいみなと漁港・市場活性化協議会の概要>

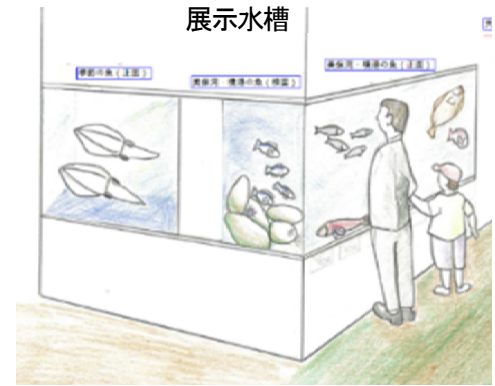
設立	平成23年12月
目的	境漁港の活性化に資するため、漁港等の整備や市場の機能強化等を推進する。
会長	岩田祐二（境港水産振興協会会長／共和水産株式会社代表取締役社長）
構成員	生産者、荷受、仲買、商工・観光・流通関係者、国・県・市等（25名）

展示スペースのイメージ図



階段、エレベーターにより
1階から2階へ

女子トイレ (洋式 3)
男子トイレ (小 4、洋式 2)



2号上屋セリ場風景



鳥取県産品の情報発信に係る取組について

令和2年9月14日
販路拡大・輸出促進課

梨を中心とした鳥取県産品の知名度向上、ブランド化を図るため、次のとおり国内外において情報発信を行っています。

1 国内での情報発信

(1) 卸売市場でのPR

- ・県産二十世紀梨の初販売日を迎えるにあたり、大阪・東京において販売セレモニーを開催した。
- ・平均単価はすべての階級で最も高かった前年を大きく上回る価格となった。

◆関西地区：大阪市中央卸売市場本場（8月27日(木)）（主催：JA全農とっとり）

○内 容：JA全農とっとり 栗原組合長（リモート出演）、平井知事による二十世紀梨のPR

○結果等：

- ・販売数量 15,770 箱/10 kg (21,982 箱)、単価 526 円/kg (439 円)
※()は前年数値
- ・セレモニー終了後、大果大阪青果(株)、大阪中央青果(株)へ知事トップセールスを行った。



◆関東地区：東京都中央卸売市場大田市場（8月27日(木)）（主催：JA全農とっとり）

○内 容：JA全農とっとり 栗原組合長（リモート出演）による二十世紀梨のPR

○結果等：

- ・販売数量 2,800 箱/10 kg (1,500 箱)、単価 547 円/kg (単価 457 円) ※()は前年数値

(2) 百貨店・量販店等でのPR

今年度は、従来の試食宣伝販売に代わる取組として、県による梨購入者へのプレゼントキャンペーンや、JA鳥取中央によるSNSを利用した消費者参加型のプレゼント企画を実施する。

◆首都圏等での梨フェア開催状況（主催：県）

区域	店舗	時期	内容
関西圏	大丸須磨店	8/26 (水) -9/ 1 (火)	鳥取梨キャンペーン(※)
	松坂屋高槻店	9/ 2 (水) -13 (日)	
	KOHYO (光洋) 80 店舗	9/ 5 (土) - 6 (日)	
	大丸梅田店	9/ 9 (水) -15 (火)	
	いしはら商店	8/27 (木) -9/22 (火)	梨視聴者プレゼント
	ちちんぷいぷい (毎日放送)	8/27 (木) 生放送	
	中四国観光物産展 (千里中央パル)	9/ 5 (土) - 6 (日)	
首都圏	とっとり・おかやま新橋館	8/27 (木) -9/22 (火)	鳥取梨キャンペーン(※)
	スーパーいなげや 137 店舗	8/28 (金) -9/13 (日)	
	新宿高野	9/ 1 (火)	オンライン産地セミナー
	京橋千疋屋	9/ 4 (金) - 8 (火)	フルーツパーラーでのパフェフェア
名古屋	ジェイアール名古屋タカシマヤ	8/29 (土) -30 (日)	鳥取梨キャンペーン(※)

(※) 鳥取梨キャンペーン

- ・県産梨を取り扱う店舗で、新甘泉、二十世紀に貼った応募シール2枚で応募できる。
- ・抽選で100名様に鳥取和牛サーロインステーキが当たる。(期間：～9/22)

◆SNSキャンペーン（主催：JA鳥取中央）

- ・JA鳥取中央のSNSでの鳥取梨を食べた写真を投稿（「#鳥取梨を食べよう」のハッシュタグ）すると、抽選で74（なし）人に梨が当たるキャンペーンを実施する。(期間：～10/31)



- ・PR動画には、知事のほか、有名Youtuber、選果場のある各町長、栗原組合長、生産者等が順次出演する。

2 海外での情報発信

(1) 台湾でのPR

◆台湾新幹線での「新甘泉」紹介広告の掲載（主催：県）

○内 容：台湾新幹線（1日の利用者約17万人）の全席（12両×34本、約33,600席）に搭載される車内誌「T-Life」9月号に、「新甘泉」の紹介、梨のプレゼントの広告を掲載する。

○期 間：9月1日（火）～30日（水）

◆SNSを活用した若者向けPR（主催：県）

○内 容：台湾最大級の若者向けSNSサイト（登録者数500万人以上）である「niusnews（ニュースニュース）」内で、新甘泉、二十世紀及び鳥取県の紹介、梨のプレゼントの記事広告を掲載する。

○期 間：9月7日（月）～20日（日）



「T-Life」9月号
掲載広告



「niusnews」
掲載広告

◆高級百貨店等での店頭PRフェア販売（主催：全農とっとり、県）

高級百貨店「新光三越」、高級スーパー「裕毛屋」で新甘泉の特設ブースの設置やマネキンによる販売促進活動など、中秋節（今年は10月1日）の贈答需要を狙った取組を実施する。

（実施店舗）

ア 新光三越台北信義新天地A4館（台北）

9月11日（金）～13日（日）、9月19日（土）～20日（日）

イ 新光三越台中中港店（台中） 9月18日（金）～21日（月）

ウ 新光三越台南新天地（台南） 9月19日（土）～22日（火）

エ 高級スーパー裕毛屋（台中） 9月18日（金）～20日（日）

(2) 香港でのPR

◆イオン香港での鳥取岡山徳島農産物フェアの開催（主催：県）

3県の食の認知度向上等を目的に、梨の時期に合わせ、農産物フェアを共同で開催する。

○内 容：3県産品のPR販売および観光情報の提供（鳥取県は、新甘泉、二十世紀、鳥取和牛を販売）

○場 所：イオン香港4店舗（コーンヒル店、チェンワン店、ワンポワ店、チュンムン店）

○期 間：9月17日（木）～23日（水）

◆鳥取和牛レストランフェアの開催（主催：県）

鳥取和牛のブランド化を目的に、高級レストラン等で「鳥取和牛フェア」を開催する。

（実施店舗）

ア 焼肉レストラン「和牛焼肉純」2店舗（5年連続開催）

期 間：9月1日（火）～30日（水）

イ 広東料理レストラン「西苑酒家」2店舗（3年連続開催）

期 間：9月1日（火）～30日（水）

ウ 焼肉レストラン「焼肉臻（しん）」（初開催）

期 間：9月15日（火）～10月14日（水）



「西苑酒家」鳥取和牛フェア

県産牛肉等学校給食提供事業の実施について

令和2年9月14日
食のみやこ推進課

新型コロナウイルス感染症の影響で消費が落ち込んでいる鳥取和牛及び鳥取地どりピヨについて、その消費拡大を図り、生産面への影響を回避するため、県内小中学校の学校給食の食材として無償提供し、食育と併せた事業を次のとおり実施しています。(国事業「国産農林水産物等販売促進緊急対策事業費補助金」(定額補助)を活用)

1 鳥取和牛

(1) 提供時期 ※以下の期間から、各市町村及び給食センター等が選択して実施する。

第1回	9月17日(木)～30日(水)のうち1日
第2回	10月26日(月)～10月30日(金)のうち1日
第3回	11月24日(火)～30日(月)のうち1日

(1人1回当たり100g、最大3回までの和牛肉を提供可能)

(2) 市町村別提供予定一覧(19市町村、小学校117校、中学校52校、その他12校)

市町村	対象学校数	合計提供量	提供メニュー
鳥取市	62校	2,403kg	サイコロステーキ、焼肉、和牛カツ等
米子市	36	1,974	プルコギ、すき焼き、カレー
倉吉市	18	1,231	焼肉
境港市	9	267	プルコギ
岩美町	4	57	焼肉、すき焼き
八頭町	5	372	サイコロステーキ、焼肉
智頭町	2	107	サイコロステーキ、すき焼き、焼肉
若桜町	1	27	牛肉のみそがらめ、焼肉、ビーフシチュー
湯梨浜町	4	192	焼肉、ビーフシチュー、ビーフカレー
北栄町	5	162	焼肉、牛丼、すき焼き
琴浦町	7	442	サイコロステーキ
三朝町	2	104	焼肉、トマト煮込み、ビーフシチュー
日吉津村	1	10	ビーフシチュー
大山町	7	270	サイコロステーキ、焼肉、牛丼
伯耆町	6	187	牛丼、サイコロステーキ、すき焼き
南部町	5	121	みそ漬け焼き、まいちょこ丼、じゃぶ汁
江府町	2	17	牛丼、ビーフシチュー
日野町	3	20	ビーフシチュー、ソテー、牛丼
日南町	2	67	焼肉炒め、ステーキ
合計	181校	8,030kg	※約52,000人に提供(児童、生徒、教職員を含む)

2 鳥取地どりピヨ

(1) 提供時期

6月30日(火)～翌年1月26日(火)の期間中に各市町及び給食センター等が希望する日に実施する。

(期間中において、1人当たり期間合計150g、最大5回までの地鶏肉を提供可能)

(2) 市町別提供予定一覧(9市町、小学校87校、中学校37校、その他10校)

市町	対象学校数	合計提供量	提供メニュー
鳥取市	58校	2,113kg	から揚げ、照り焼き、カレーシチュー等
米子市	36	2,277	から揚げ、酢どり
倉吉市	18	492	照り焼き、ガーリック焼き
智頭町	2	8	五目とり飯
若桜町	1	26	から揚げ、揚げ物、炊き込みご飯
北栄町	5	94	から揚げ
琴浦町	7	221	から揚げ、ササミのバーベキューソース等
三朝町	2	11	炊き込みご飯
南部町	5	115	おこわ、照り焼き、じゃぶ汁
合計	134校	5,357kg	※約41,000人に提供(児童、生徒、教職員を含む)

3 その他(食育活動について)

食育活動について、鳥取和牛、鳥取地どりピヨともに、給食提供時に教材配付等を行い、それぞれの食材に対する児童、生徒の理解、関心を深める取組を行う。

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

令和2年9月14日
農地・水保全課
水産課

【変更分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	工事内容	摘要
農地・水保全課 (中部総合事務所農林局)	天神野地区地域ため池(横谷ため池)改修工事(その2)	倉吉市 志津	株式会社 共栄組 代表取締役社長 山崎 稔	(当初契約額) 195,800,000円	令和2年2月20日 ～ 令和2年10月19日	(当初契約年月日) 令和2年2月18日	【工事内容】 ため池改修工事 堤体工 盛土工(抱土) V=7,247m ³ 盛土改良 V=12,409m ³ 遮水シート工 A=3,376m ² 仮設工 工事用道路 1式 水替工 1式 ○変更内容 盛土材料が想定以上に軟弱であったため、改良材添加量を変更することで強度確保を図る(工事費の増額)。 上記添加量決定に伴う試験・検討に期間を要したことと併せ、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当該改良工事に係る県外専門業者の立入りが遅延したため、工期延伸を行う。	
				(第1回変更後契約額) 231,750,200円 (変更額) 35,950,200円)	(変更後工期) 令和2年2月20日 ～ 令和3年1月20日	(第1回変更契約年月日) 令和2年9月2日		

【変更分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	工事内容	摘要
水産課 (営繕課)	境漁港高度衛生管理型市場整備事業電気ポンプ室棟ほか新築工事(建築)	境港市 昭和町	株式会社フィディア 代表取締役 福井 龍介	(当初契約額) 164,560,000円	令和元年12月24日 ～ 令和3年5月31日	(当初契約年月日) 令和元年12月23日	【工事内容】 電気ポンプ室改築、取水ポンプ室新築及び送水ポンプ室新築等に係る建築工事	
				(第1回変更後契約額) 173,231,300円 変更額 8,671,300円		(第1回変更契約年月日) 令和2年8月25日		
水産課 (営繕課)	境漁港高度衛生管理型市場整備事業電気ポンプ室棟ほか新築工事(電気設備)	境港市 昭和町	株式会社ホクシン 代表取締役 濱田 修	(当初契約額) 102,080,000円	令和元年12月24日 ～ 令和3年5月31日	(当初契約年月日) 令和元年12月23日	【工事内容】 電気ポンプ室改築、取水ポンプ室新築及び送水ポンプ室新築等に係る電気設備工事	
						(第1回変更契約年月日) 令和2年8月21日		
水産課 (営繕課)	境漁港高度衛生管理型市場整備事業電気ポンプ室棟ほか新築工事(機械設備)	境港市 昭和町	境漁港高度衛生管理型市場整備事業電気ポンプ室棟ほか新築工事(機械設備)曾我工業・大丸水機特定建設工事共同企業体 曾我工業株式会社 代表取締役社長 林 善博	(当初契約額) 247,500,000円	令和元年12月24日 ～ 令和3年5月31日	(当初契約年月日) 令和元年12月23日	【工事内容】 電気ポンプ室改築、取水ポンプ室新築及び送水ポンプ室新築等に係る機械設備工事	
						(第1回変更契約年月日) 令和2年8月21日		